

安全神話

ってよく聞くけれど

まずはこの発言から

2015年6月1日 長期エネルギー需給見通し小委員会

参考資料①

坂根 正弘 委員長

(株)小松製作所相談役

出来たら再エネ、新エネだけで世界の100億人が生きていける世界を作るべきだ、と私は思っていますが、少なくともそれが見えない中で、原子力について完全否定をするということは、国として全く愚かなことだというふうに思っています。

(中略)

非常に不安な要素が安全神話。

もう「これで安全だ」と言ったとたんに、何かしようとするとなんか「じゃあ、原発止めろ」と、この神話ですね。

今回もどうも動きを見て、100%安全というのを求めて、じゃあ、この後何か知恵が出た時にその知恵をやろうと思ったら「何だ今までのやつは安全じゃなかったのか」と言われて、またそこで、なんと言いますか、躊躇する。そういったことがあっては絶対ダメだと思うんです。

えっ？

これを聞いた時の胸のもやもや感。。。

「安全神話」ってそういう話だっけ？

少し考えてみました。

エネルギー基本計画にも「安全神話」が出てきます。

参考資料②

政府及び原子力事業者は、いわゆる「安全神話」に陥り、十分な過酷事故への対応ができず、このような悲惨な事態を防ぐことができなかった

(p.4 「はじめに」)

我が国の原子力発電所では深刻な過酷事故は起こり得ないという「安全神話」と決別し、世界最高水準の安全性を不断に追求していくことが重要である。

(p.42 「原子力政策の再構築」)

参考資料

①Youtube経産省ch 長期エネルギー需給見通し小委員会(第10回会合)から文字起こし (議事録がまだないため)

<https://www.youtube.com/watch?v=z0FQccwWqx0&feature=youtu.be>

②経産省HP 新しいエネルギー基本計画が閣議決定されました

<http://www.meti.go.jp/press/2014/04/20140411001/20140411001.html>

③衆議院HP 議事録 第189国会 予算委員会 第2号 (平成27年1月29日)

http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_kaigiroku.nsf/html/kaigiroku/001818920150129002.htm

④原子力規制委員会HP 原子力規制委員会委員長定例会見 平成27年2月18日 速記録

http://www.nsr.go.jp/nra/kaiken/26_kaiken.html

⑤九州電力HP 国内外で発生した事故の教訓について

http://www.kyuden.co.jp/nuclear_pluthermal_answer_10.html

安倍首相

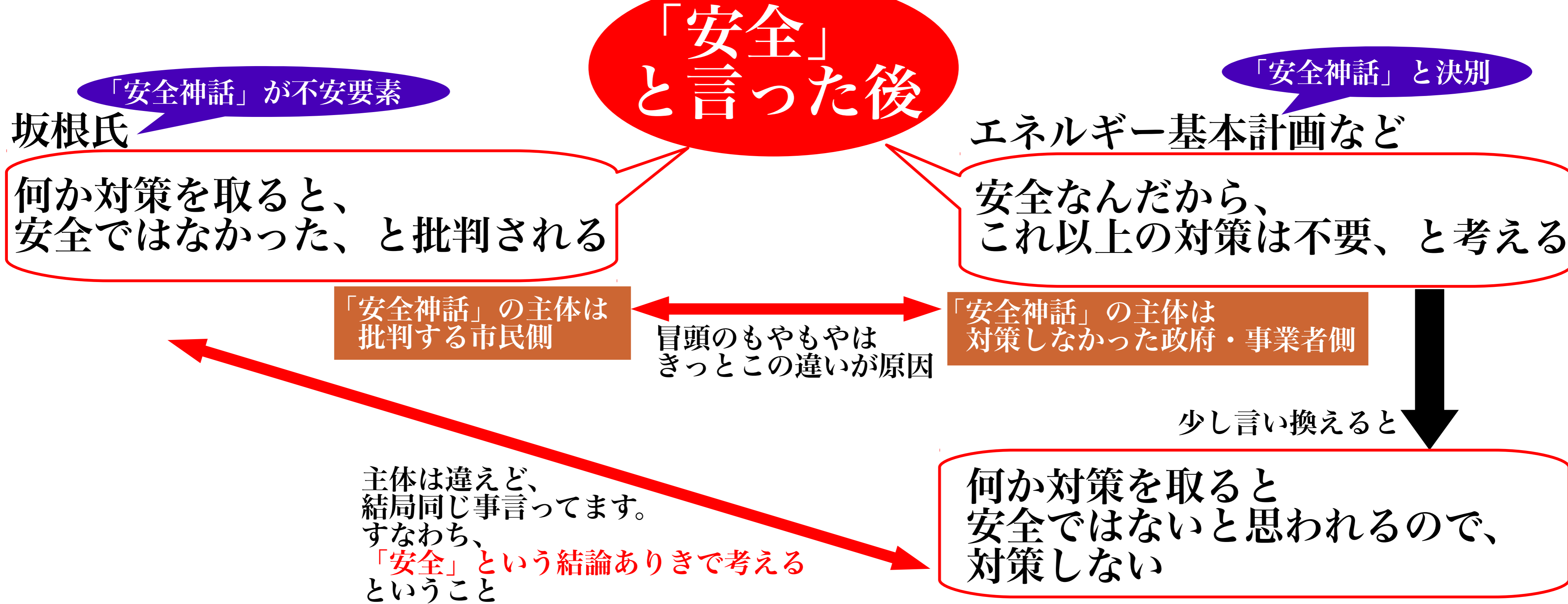
(福島第一原発事故があのような結果になった理由は) **安全神話**に寄りかかっていたと言わざるを得ないわけでありまして、**事故は起こり得る**、起こり得る事故の中において、いかに住民を、国民を危険から守り得るか**という視点**がやはり一部欠落していたと言わざるを得ない。

田中原子力規制委員会委員長

往々にして原子力の立地地元では**絶対安全**という、よく**安全神話**を信じたいという意識があったのも事実なんです。でももうそういうことは卒業しないといけないということがこの1Fの事故で十分に我々は学んだし、学ぶべきだと思っています

ここから長い私見。。

「安全神話」がどんなことのたとえなのか考えてみると



「神話」

「神話」というのが根拠のないことの例えだとすると、それはおかしいです。だって、今までだってずっと何かしら根拠はあったはず、例えば。。

当社の原子力発電所は、「自己制御性」を有することはもちろん、原子炉格納容器など五重の壁で放射性物質を閉じ込めることや、多重防護の思想に基づいた安全設計、さらには厳重な運転管理を行っていることから、チェルノブイリのような事故が起こることは考えられません。

九州電力HPより(参考資料⑤)

これも一応根拠のある論理です。。。強いて言えば、「神話」は信者の世界でしか通じないという例えと考えた方がしっくりきます。つまり根拠が**原子力関係者の閉じた世界ではなく、世の中一般での議論に耐えうるかどうか**が問題ということです。

つまり私の考える『安全神話』とは『関係者だけの閉じた世界でのみ通じる根拠に基づく「安全」という結論とその結論ありきで物事を考え、進めること』

今まで何度もこのポスターシリーズで政府の委員会等での議論を紹介してきましたが、しっかり『安全神話』は生きています。『安全神話』なんて抽象的な言葉でウヤムヤにするのではなく、どの政策がダメだったのか？というのをはつきりさせることがまず必要で、文書や答弁で『安全神話』なんて言っているうちは事故から何も学んでいないに等しいと思います。